

新社長



3月22日付で中部地区大手非鉄流通のトップに就任した。黄銅棒販売では国内最大手。

市原金属産業 市原 玄樹氏

安定供給で常に選ばれる会社に

「100年間で築き上げたお取引先さまと... 例外ではない。また、昨今これまでは想像も...」

略歴

市原 玄樹氏 (いちはら・げんき) 2012年慶応大法学部卒、三菱UFJ銀行入行、18年市原金属産業入社。21年取締役、22年常務、23年専務、24年3月現職。1988年4月20日生まれ、35歳。名古屋出身。

「業歴100年ある企業の経営のかじ取りをするのは非常にかじ取りをするのは非常に身が引き締まる思いだが、さらなる高みを目指したい」と第一声。

玄樹氏は市原正樹会長の長男。「物心ついたときから、将来会社を継ぐことは意識していた。会社の新たな100年のスタートと同じく、相手先板・条、加工品など付

中部地区では「洗練された非鉄流通」のイメージで浸透している。信条は人とのつながりを大切にする。「メッセージを直接伝えられるよう、社員とも顧客とも対話する機会を増やしたい」。高校時代は陸上、中長距離で鍛えたスポーツマン。趣味は旅行。「旅先での食歩歩きが好き」と顔をほころばす。

(齊藤 直人)